

日本保健物理学会 新 Newsletter 2018年3月29日号

送信者:一般社団法人日本保健物理学会<exec.off@jhps.or.jp> 2018/03/29 17:50:51

日本保健物理学会 新 Newsletter 2018年3月29日号

1. 学会関連情報

○日本保健物理学会第51回研究発表会（6月29日（金）～30日（土）、ホテルライフオーソ札幌）

原稿の受付を開始しました。要旨原稿提出期限：4月9日（月）

引き続き参加申し込みを受け付けておりますので、みなさまからの申込みをお待ちしております。

<http://www.jhps.or.jp/jhps51/index.html>

○企画委員会 新設専門研究会の設置について

専門研究会員としての参加希望の方は3月31日までにご連絡ください。

- ・「放射線安全文化の醸成に関する専門研究会」の設置について
- ・「福島第一原子力発電所事故後の Public Understanding（科学の公衆理解）の取り組みに関する専門研究会」の設置について

<http://www.jhps.or.jp>

○平成30年度国際的機関主催会合等への若手派遣事業について（締切：6月30日までにメールにて）

放射線防護アンブレラ代表者会議では、グローバル人材の育成と確保の一助とするため放射線防護関連の国際的機関が主催する会合に、若手専門家を派遣します。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=105>

○企画委員会 日本保健物理学会シンポジウム I、II、III

3月19日（月）、20日（火）に開催し、盛況のうちに終了しました。詳細はあらためて報告いたします。

2. 関連する研究情報

○文部科学省 科研費における変更点を公開

「国際共同研究強化（B）」を新設、連携研究者の廃止、交付内定後の各種様式の提出方法を電子申請化

http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1402050.htm

○ICRP Publication 139 「Occupational Radiological Protection in Interventional Procedures」刊行

<http://www.icrp.org/publication.asp?id=ICRP%20Publication%20139>

○IAEA GSG-11：「原子力又は放射線緊急事態の解除のための取り決めに関する安全指針」出版

IAEAは各国の当局が原子力や放射線に関する緊急事態の発生後、その緊急時の体制の解除をいつ、どのように行うかについて、新たな安全指針（GSG-11）を策定した。

原子力や放射線に関する緊急事態の後の正常な社会経済活動のタイムリーな再開を促進することを目的として、防護措置をいつ解除すべきかを決定する方法等に関するガイダンスを示している。

<https://www.iaea.org/newscenter/news/new-iaea-safety-guide-deciding-when-to-end-emergency-situations>

(論文情報)

○AM J Roentgenol. (電子版先行掲載)

頸部 CT 検査において頭部を後傾させて撮影することで、水晶体被曝線量を簡単に低減できることを示した。

Lens Dose Reduction by Patient Posture Modification During Neck CT ; Mosher EG et al

<https://www.ajronline.org/doi/abs/10.2214/AJR.17.18261>

○Radiat Res. 2018 Apr ; 189(4):371-388.

ロシアのマヤック原子力作業者と英国のセラフィールド原子力作業者におけるガンマ線外部被ばくとプルトニウムによる肝臓へのアルファ線内部被ばくに対する循環器疾患 (CD)、虚血性心疾患 (IHD)、脳血管疾患 (CeVD) のリスクを解析。いずれのコホートでもアルファ線内部被ばくによるリスク増加は認められなかった。ガンマ線外部被ばくについては、いずれのコホートでも CD と IHD のリスクは増加したが、セラフィールドの方がマヤックより 10 倍高かった。両コホートとも、CD のリスクは、最初の 10 年間(マヤックでは 1948-1958 年、セラフィールドでは 1947-1957 年)に雇用された作業の方が、それ以降に雇用された作業より著しく高く、10 年後以降に雇用された作業における CV のリスクは両コホートで同程度であったが、原因は不明である。

An Assessment of Radiation-Associated Risks of Mortality from Circulatory Disease in the Cohorts of Mayak and Sellafield Nuclear Workers. ; Azizova TV et al

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/29494323>

3. ニュースや社会の動き

○原子力規制庁

- ・放射能測定法シリーズ No. 29 「緊急時におけるゲルマニウム半導体検出器による γ 線スペクトル解析法」を改訂 (3月27日)

http://www.nsr.go.jp/news_only/20180327_01.html

- ・リアルタイム線量測定システムの配置箇所を見直し。平成 32 年度末までを目途に線量が低く安定している地点を線量の低い順に撤去、避難指示・解除区域市町村内へ移設 (3月20日)

<http://www.nsr.go.jp/data/000224268.pdf>

- ・「放射性同位元素使用施設等における事故・トラブル等の緊急時における連絡について」通知 (3月7日)

http://www.nsr.go.jp/activity/ri_kisei/kanrenhourei/index.html

○原子力機構 「答えます みんなが知りたい福島の今ー根拠情報 Q&A サイトー」をリニューアル公開

<http://fukushima.jaea.go.jp/pdf/2018-0328.pdf>

○国立保健医療科学院 原発事故対応の特集号を発行

<https://www.niph.go.jp/journal/data/67-1/e67-1.html>

○復興庁「富岡町特定復興再生拠点区域復興再生計画」を認定

http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-4/saiseikyoten/material/20180309_kouhyou_tomioka_tokuteifukkosaiseikyotenkuiki_fukkosaiseikeikaku.pdf

○京都大学原子炉実験所が組織名称変更 平成30年4月1日より組織名称を「京都大学複合原子力科学研究所」に変更

<http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/archives/10118>

○IAEA「International Symposium on Communicating Nuclear and Radiological Emergencies to the Public」

(2018年10月1~5日、ウィーン)

発表申込締切を4月20日までに延長

<https://www.iaea.org/events/cnrep2018>

4. これからのイベント

○放射線計測研究会 第68回研究会開催(4月21日13:30~17:00、三菱総合研究所 大会議室CD)

「医用ガンマ線イメージング技術の研究開発」島添 健次 先生(東大)、

「薄型中性子シリコンセンサー - GBRN テロ・BNCT への応用 -」高田 真志 先生(防衛大)

○京都大学複合原子力科学研究所(旧京都大学原子炉実験所)一般公開、桜公開

(4月7日一般公開 10:00~16:00、4月8日桜公開 10:00~16:00、京都大学原子炉実験所)

<http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/events/9928>

○大阪府立大学 第9回「府大 花(さくら)まつり」での放射線オープンスクール(4月7日11:00~17:00、

大阪府立大学なかもずキャンパス)

<http://www.osakafu-u.ac.jp/event/evt20180407/>

○QST 高崎量子応用研究所 花と緑の見学会(4月8日10:00~15:00、高崎量子応用研究所)

http://www.taka.qst.go.jp/information/41_exhibit/index.php

○(一社)大阪ニュークリアサイエンス協会 第65回 放射線科学研究会(4月11日13:30~19:00、住友クラブ)

<http://onsa.g.dgdg.jp/radiat65.htm>

○QST 放射線医学総合研究所 一般公開(4月22日9:30~16:30、放射線医学総合研究所)

http://www.nirs.qst.go.jp/information/event/2018/04_22.html

○自然科学研究機構 核融合科学研究所 Fusion フェスタ in 東京 2018

(5月3日10:00~17:00、日本科学未来館(お台場)7F 未来館ホール)

<http://www.nifs.ac.jp/welcome/fusionfesta/>

○日本 RI 協会 第 24 回 NMCC (仁科記念サイクロトロンセンター) 共同利用研究成果発表会
(5 月 11 日~12 日、ホテルメトロポリタン盛岡本館 4F「岩手の間」)

<https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/110-07.html>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○広島大学原爆放射線医科学研究所 疾患モデル解析研究分野教授 (締切: 6 月 15 日必着)

https://www.hiroshima-u.ac.jp/system/files/95580/geniken_jp.pdf

○日本 RI 協会 2019 年度の新卒採用会社説明会を開催

(3 月 29 日 10:00~12:00、4 月 5 日 14:00~16:00、4 月 13 日 14:00~16:00)

<http://customers.bunken.co.jp/c/I/D003m12398C9740Se6adf0d0.html>

既発行の新 Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

新 Newsletter にて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同企画委員会

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp
